

藤沢市議会議員
山口 政哉 様



陳情 8 第 6 号



令和8年5月27日

陳情者 下條 斉子

住所 神奈川県藤沢市辻堂東海岸1-8-17

mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情

【陳情項目】

次の項目について、国への意見書を提出してください。

- ① mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）の国民への接種を中止すること
- ② mRNA ワクチンリスクの適切な情報を国民へ周知すること
- ③ mRNA ワクチン事業を中止すること

【理由】

現在、新型コロナワクチンによる過去最大の健康被害が起きています。また2022年以降超過死亡が続いており、毎年の死亡推計値を約10～13万人を上回っています。

2021年から始まった新型コロナ予防接種による被害件数や死亡件数は、厚労省発表による令和8年4月27日時点予防接種健康被害救済認定、累計進達受理件数15255件、累計認定数9473件、その内死亡一時金または葬祭料を含む累計認定数1070件となっています。全国の市民が各自治体へ「新型コロナ予防接種状況と死亡状況」を開示請求しています。その内の158市区町村5359万回分のデータでは、令和8年3月1日時点で新型コロナ予防接種当日及び翌日の死亡者は704人、接種後1週間以内の死亡者は5629人となっています。このデータは全国自治体のまだ約12%であり、全接種者に比例させた推計値では接種当日及び翌日の死亡者数は6073人と予測され、ロット別により死亡率が1000倍ほど違うこともわかりました。

新型コロナ予防接種で使用されたmRNAワクチンは、接種後その部位にとどまらず全身をめぐる、あらゆる細胞がmRNAを取り込む可能性があります。そして自身の体内でスパイクタンパクを生成し、その細胞は自身の免疫機能の攻撃を受けます。血管内であれば内皮細胞に炎症がおき、心筋炎や血栓症を起こし、脳梗塞、心筋梗塞などで死亡されるケースが多くみられます。またmRNAワクチンは当初すぐに分解されると説明されていましたが、脂質ナノ粒で包まれていることで長期に体内に残存し、接種後長期にわたりスパイクタンパクが検出されたという論文も発表されています。mRNAワクチンの繰り返し接種により、IgG4の誘導され、免疫抑制されることも懸念されています。またファイザー製品にはSV40という癌誘発剤が混入している事がわかり、ターボ癌や希少癌といわれる癌がここ数年多くなっているのはその影響ではないかといわれています。そしてDNA汚染の問題も研究論文で発表され、人体への影響は長期に及ぶものと考えます。

ワクチン研究の権威者である井上正康大阪市立大学名誉教授やウイルス学の権威者である村上康文東京理科大学名誉教授によると、新型コロナ予防接種に使用されたmRNAワクチンはワクチンではなく遺伝子製剤と断言されています。

国内では昨年4月にRSウイルスへのmRNAワクチンが認可され、インフルエンザワクチンや狂犬病ワクチンなどもmRNA製の認可を待っている状態です。そして薬剤メーカー各社は多数のmRNAワクチン製造計画をたっている状態です。これだけ多くの被害が生じるmRNAワクチン事業を国が何故ほっておくのか、すぐに中止していかなくてはなりません。

ワクチン問題研究会の福島雅典京都大学名誉教授は令和7年10月27日にmRNAワクチン接種後の健康被害および腫瘍リスク対策に関する要望書を厚労省へ提出し、記者会見を行っています。福島県喜多方市議会（2025年12月11日）や青森県大間町（令和8年3月17日）、徳島県小松島市（令和8年3月19日）では、本陳情と同じ趣旨の陳情が議会で採択されました。前例を踏まえ、藤沢市議会におかれましても、市民の生命と健康を守るために同様のご判断をされることをお願い致します。



陳情 8 第10号



令和 8 年 6 月 1 日

藤沢市議会 議長 山口 政哉 様

氏名 岩下 次郎

住所 藤沢市本藤沢 3-10-2

藤沢市民病院地域連携診療の実態は過剰診療になっており適正化を求める陳情

【項目】医師の倫理を問いかねない過剰診療は、専門性の障壁高く言及し難いのを通例とする故、自治体経営病院の運営状況の調査及び適正化を働き掛けて下さい。

理由

- 1 高齢になれば誰しも発生する、白内障治療は地域支援病院の要であり、申請人は**昨年**3月白内障手術をうけ、その経緯からの実情陳情である。
- 2 市民病院の設置は多く市民の夢が実現したものであり、適正運営は必須である。
- 3 過剰診療は保険診療の報酬点数及び患者負担の増加になっている。

経緯

1997年（平成9年）医療法改正にともない、地域医療かかりつけ医と機関支援病院の認定制度による創設である。